



みんなのて 通信 vol.17



(多世代交流ひろば みんなのて) — R 2・11 発行 —

E-Mail somebodyshands@gmail.com (みんなのて 事務局)

HP <https://www.minnanote-tsurumaki.com/> (みんなのて)

【 支え合うコミュニティづくり —学習支援「きらく学習室」開設に当たり— 】

近年大規模化する自然災害の被害や不安に駆られる中、折しも 2020 年はコロナ禍に見舞われ、世界中の人々にとって大きな試練の年になってしまいました。大人にとっても、子供にとっても。

仕事を失った人、仕事が減った人、内定を取り消された学生。

子供の養育費が家計を大幅に圧迫している家庭も少なくないと思います。修学旅行、運動会、遠足等の学校行事が縮小され不完全燃焼のまま、卒業、進級を余儀なくされる子供達。3 月から 3 ヶ月余の休校により満足な勉強ができず学力に不安を抱えている子供もいることでしょう。殊に受験生は焦り、不安が募ることでしょう。



さて、このたび「つどいの場嬉楽」代表の沼上様のご尽力により学習支援「きらく学習室」を開設することができました。

8 月後半から中学生を対象に、2 学期からは小学生も加わりました。「きらく学習室」は地域の学習ボランティア活動で、無料で行っております。世代間交流の場として発足した「つどいの場嬉楽」の理念に合致した取り組みです。子供たちに勉強を教えるという単なる一方通行

ではなく私たちもまた子供たちとの学びを通して元気をもらえることでしょう。講師陣はみなリタイアした人たちなので時に余裕があります。その子のペースに合わせじっくり付き合います。原則一対一なので力がつくでしょう。孫世代の子供達との交流は私たちにとっても大きな喜びです。「きらく学習室」がほっこりできる場になることを願っています。やがて次世代の担い手となる子供達の成長過程の一時期に学びを通してかかわれることは喜びと同時に責任も感じます。

私たちシニアもやがて医療、介護、福祉、災害等で若い人たちのお世話になる身。老若男女がお互いに顔見知りになり、気軽に声をかけ合える地域になったら素晴らしいと思います。

新型コロナウイルスの収束はまだ先のことでしょう。マスクを外し外を闊歩できる日が待ち遠しいですが、明けない夜はありません。今きちんとやるべきことを守り、共に支え合う地域づくりを目指したいものです。

「きらく学習室」にご理解、ご協力をお願いいたします。

(学習支援「きらく学習室」事務局 大和田恵美子)



今年のクリスマス会は鶴巻公民館で！

みんなのての今年度のクリスマス会は、交流プログラムとして、ちっちゃなてとおっきなての合同イベントになります。

イベント会場は、**鶴巻公民館の和室**なので、場所をお間違えのないようにお越しくださいませ。

もちろん例年の如く、生のリアルサンタ(笑)にもお越しいただく予定です。

大人も子どもも楽しめる、クリスマス気分たっぷりのひとときを、ぜひお楽しみください！！



年末年始のスケジュールにご注意ください

早いもので今年ももう終わりが近づいてきました。

みんなのてのサロンスケジュールは、官公庁に準じています。つまり、秦野市役所と同じということです(笑)

仕事納めは12月28日、仕事始めは1月4日。この間の1週間は、ちっちゃなてもおっきなても両方ともお休みとなりますので、ご承知おきください。



会員登録にご協力ください

みんなのてでは、政府からの要請により、新型コロナウイルスに感染された方がいらっしゃった場合に、同時にご利用いただいていたほかのご利用者様に対して確実に連絡が取れるよう、必要事項をご登録いただいております。

個人情報としての取り扱いになりますので、管理の際のリスクを減らすためにも、個人識別番号制(会員番号制)を取らせていただくことになりました。

ちっちゃなても、おっきなても、ご利用者様の初回ご利用時には面倒な登録手続きをお願いすることになりますが、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



ボランティアスタッフを大募集中です

おっきなてと、ちっちゃなてでは、私達と一緒にサロンの中で働いてくれるボランティアスタッフさんを募集しております。興味のある方はスタッフにお声がけくださるか、0463(45)0534 までお電話でお問い合わせください。



ご支援・ご協力をお願いいたします

「みんなのて」では、各種金券(商品券やプリペイドカードなど)や物品だけではなく、現金による寄付もお受けすることができます。

両サロンの運営をはじめとする私たちの活動に、賛同してくださる方々からの、熱い応援をお待ちいたしております。



ちっちゃんて

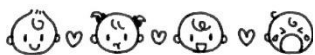


E-Mail little-hands@outlook.jp (ちっちゃんて 事務局)

HP [https:// www.minnanote-tsurumaki.com/chicchanate](https://www.minnanote-tsurumaki.com/chicchanate) (ちっちゃんて)

皆さん元気でお過ごしでしょうか？

ちっちゃんて は市のマニュアルに沿って『三密』を避けながらの活動を頑張っています。入室時の検温、消毒、換気も定着し皆さんのご協力の下、安心して過ごしていただけていることと思います。毎月の工作はキットのお渡しという形になりましたが『楽しんでいます』『作ってみました！』と嬉しい声も聞かれ励みになります。少人数だから子育ての相談もゆったりとできるチャンスでもありますね。また、**おっきなて**との交流会として 12 月はクリスマス会を予定しています。予約制ではありますが是非ご参加ください。



身近なことであそぼう！



簡単な「親子の運動遊び」を紹介しま〜す♪

<はう>



*身体のバランスを取りながらくぐっていきます。時々、大人が小さくなりながらコミュニケーションも楽しみましょう。

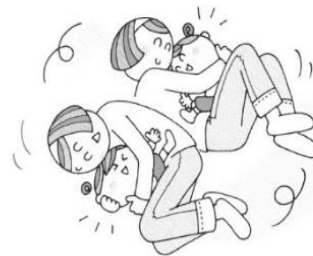
0,1,2 歳児は遊びながら大声で笑うことで背筋や腹筋を使う全身運動をしています。「はう」「よじ登る」「転がる」といった動作は0, 1, 2歳の年齢に合った全身運動です。これらは、この年齢以降の「走る」「跳ぶ」につながる動きです。たくさん経験をさせてあげましょう

<よじ登る>

*大人が背中を揺らすことで不安定な動きや、反射的に身をかわすような動きを楽しんだりします。



<転がる>



*全身を大きく動かし平衡感覚や身体の使い方の基本を作ります。



毎月お配りしている工作キットは、見本写真やその作り方がおうちでも簡単に見られるよう、ちっちゃんてのホームページにも掲載させてもらっています。「ちっちゃんて」→「サロン日程」→「作り方はこちら」の順にタップしてみてください。

ちっちゃなて スケジュール

【12月】

月	火	水	木	金	土	日
	1	2 ◎	3	4 ◎	5	6
7 ◎	8	9 ◎	10	11 ◎	12	13
14 (ミニミニ講座) ◎	15	16 ◎	17	18 ◎	19	20
21 ◎	22	23 ◎	24 (交流の日)	25 ◎	26	27
28 ◎	29	30	31			

【1月】

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4 ◎	5	6 ◎	7	8 ◎	9	10
11	12	13 ◎	14	15 ◎	16	17
18 (ミニミニ講座) ◎	19	20 ◎	21	22 ◎	23	24
25 ◎	26	27 ◎	28 (交流の日)	29 ◎	30	31

【プログラムのご案内】

- 12月 クリスマス紙皿リース（工作）
1月 牛乳パックフリスビー（工作）

【ミニミニ講座のご案内】

- 12月 応急手当
1月 かかりつけ医をもちましょう

おっきなて



E-Mail large-hands@outlook.jp (おっきなて 事務局)

HP <https://www.minnanote-tsurumaki.com/okkinate> (おっきなて)



新型コロナが終息しないまま、とうとう冬がやってきました。

これからの季節、三密対策の中でも辛くなってくるのは「換気」。

もちろん、昨年同様、サロン室内に暖房は入れさせていただきますが、一定時間ごとの換気は、部屋が温まる際の大きな妨げとなります。

サロンが室内だからといっても、去年までのような適温にはお応えできない可能性もあります。どうか室内といえども防寒対策はしっかりされて、ご自愛いただきますよう、お願いいたします。



みんなのて回数券

おっきなての参加費は、去年までは現金によるお支払いが多かったのですが、今年はほとんどの方がみんなのて回数券（みんなのて回数券）でのお支払いで、その浸透ぶりにちょっとびっくり。

利用者さんたちの日常生活の中に、すっかり当たり前のようにして「おっきなて」が入り込んでるみたいで、とても嬉しく思います。

おっきなてサロンがお得に利用できる「みんなのて回数券」のお買い求めは、スタッフまで申し出てください。



～サロンでこんなことをしたよ～



「双六を作ろう」

事の発端はスタッフKの「お正月に双六をやりたいの！自分たちの手で人生ゲームを作りたい！！」という一言でした。

コマはどうする？ お金は作るの！？ 膨大な手間を考えたら、とてもじゃないけど2時間くらいじゃ終わらない(笑) 苦肉の末に「何回かに分けてシリーズ化しよう」というプランになりました。

だけど、実際にフタを開けてみたら、みんなそれぞれコマを考えて持ち寄る、寄せ書き方式。これが単純で、しかも個性が如実に表れて、実に面白い！ 何のことはない1時間もかからずに出来上がってしまいました。

あまりに面白いので、やっぱりこのままシリーズ化しちゃいます(笑)

おっきなて メインプログラムご案内

ご参加の際には、所定のご利用料がかかります。

【12月】

日時		火曜日	日時		木曜日
1	午前	ぬりえで絵手紙・冬	3	午前	双六を作ろう
	午後	カードゲームを楽しもう		午後	おっきなてカフェ
8	午前	学校ごっこ「国語・算数」	10	午前	お正月飾りを作ろう
	午後	学校ごっこ「音楽・体育」		午後	忘年会
15	午前	おもしろ解説「忠臣蔵」	17	午前	牧師さんと語ろう
	午後	気功・基本の型を学ぼう		午後	おっきなてカフェ
22	午前	クリスマスを楽しもう	24	午前	交流「ちっちゃなて」(於：和室)
	午後	みんなで身体を動かそう！		午後	フリータイム
29	午前	お休み	31	午前	お休み
	午後			午後	

【1月】

日時		火曜日	日時		木曜日
5	午前	往年のお笑い芸人(漫才師)	7	午前	双六で遊ぼう
	午後	往年のお笑い芸人(落語家)		午後	おっきなてカフェ
12	午前	百人一首で遊ぼう	14	午前	アイロンビーズ
	午後	みんなで身体を動かそう！		午後	おっきなてカフェ
19	午前	脳トレを楽しもう	21	午前	栄養士さんに冬の料理を学ぼう
	午後	昭和歌謡		午後	カードゲームを楽しもう
26	午前	「骨」について学ぼう	28	午前	交流 ちっちゃなて
	午後	みんなで身体を動かそう！		午後	フリータイム

「交流 ちっちゃなて」は子育て世代親子との合同サロンです

- ★ プログラムは予約優先の定員制となります。
ご予約のお申し込みは、サロンまたはおっきなて事務局まで、電話またはFAX(45-0534)にてご連絡ください。

多世代交流プログラムのメインテーマ

【12月24日】

クリスマス会



【1月28日】

お花紙遊び



多世代交流プログラムは、毎月第四木曜日に開催しています



ご支援いただき、ありがとうございます

加藤總江さん（秦野市在住）、匿名希望さん（秦野市在住）
より

小麦粉、フードワンポイント券
を、いただきました。



◆ 編集後記 ◆

ここ連日、テレビのニュースを見ていると、トップニュースがコロナ関連ではなくアメリカ大統領選挙。…ココは日本。国民に選挙権はないはずなのに、この盛り上がりっぷりったら(笑)

さて、くだんの人物。トランプ大統領。

旗色が悪くなってくると、次々に選挙無効との裁判を起しちゃいまして、最後の手段は連邦最高裁の判事による決定を狙っているのだとか。

選挙期間中のSNS発言とか、記者会見での言動だとかを見ていると、もう自分の思い通りにならないのが我慢できない、駄々っ子のような感じにすら見えてきます。ちっちゃなてに遊びに来てくれるお友達の方が、「おもちゃ、どうぞ」と相手を思いやれる分だけ、大人かもしれません(笑)

さて、ちっちゃなてのサロンも、ここ最近1歳前後の新しいお友達が徐々に増えてきました。反対に、2歳を過ぎたお友達は、だんだん幼稚園のプレが始まったり、外遊びの方が楽しかったりで、少しずつサロンを卒業しつつあります。

毎年秋から冬にかけてのこの時期は、サロンの中もお友達の顔ぶれに変化が見られ、世代交代の波が近寄ってきているのを実感させられます。

少子化が進み、兄弟の数が少なくなった昨今。

ぜひちっちゃなてのサロンの中で同年齢のお友達同士でふれあい、小さなうちからお友達を大切に、人を思いやれるココロを育ててあげましょう。

『三つ子の魂、百まで』ですよ(笑)

(文責：渡部)



幼稚園年長さんの孫が遊びに来ました。年長さん位になると、友達からの影響か、いろいろなことを吸収してきます。ある日、おばあちゃんの受け答えをそのまま、まねして、オウム返しをし始めました。多少、しつこくなってきたので、ママが優しく「幼稚園でお友達から同じことをされてやだった、といったわね」というと、ママの顔をじっとみて、そのうち涙ぐんできて、ママに抱き着いてきました。その後、オウム返しがピタッと止まりました。絶妙なママの話し方が効を奏したようでした。

数年前のこと。自治会の役員会に青少年指導員としてオブザーバー参加していた時、あるお年寄りからの苦情が報告されました。＜通路で子どもがボール遊びをしていて、怖くて、通れなかった＞というものでした。このようなことはあちこちで聞く話です。そして、「危ないからここでボール遊びをしてはいけません」と遊び場の規制をすることになります。そのとき、ある講習会で知ったことを思い出しました。今の子どもには「サンマが無い」というものです。魚のことではなく、＜時間＞、＜空間＞、＜仲間＞の3つの＜間＞がなくなっているというものです。お年寄りにしてみれば、ボールが当たるとケガをするし、深刻な問題です。一方、こどもとしては、塾や習い事などで時間が無くなり、遊び仲間も少なく、その上、遊び場もさらに限られてしまうことになります。こどもは訴えることもできず、言われるままに制約を受ける立場です。



この話には、「地域でこどもを育てる」という考え方が抜けているような気がします。普段から交流があり、よく知っている子どもだったら、やさしく声をかけて、遊びを中断させることもできます。単に被害者の立場に立つと苦情になり、子どもが対立関係になってしまいます。＜みんなのて＞のような、地域の世代間交流が活発になれば、このような問題は解決されていくのではないのでしょうか。

※ 多世代交流ひろば「みんなのて」は、鶴巻地区住んでよかったまちづくり協議会（宮川邦生会長）の居場所づくりプロジェクト事業のひとつです。